

【様式1】 平成29年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	飛騨市	学校名	飛騨市立河合小学校			
校長名	中村 康子	対象学年	全校	人数	50人	
活動名	ふるさと活動	時間数	30	時間	継続年数	7年
題材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） 2 歴史（出来事・史跡・先人・その他） ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） 4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） ⑤ 地域との積極的な関わりをつくる活動等 ⑥ その他（防災教育）					
複数年継続するための工夫改善	○地域への貢献活動『自分から地域に働きかける子』を合い言葉として活動する。 今まで地域の方々に教えていただいていた河合の盆踊りを今度は児童が「踊りの先生」となり、盆踊りを知らない住民の方に教えた。盆踊り大会を復活させ、地歌舞伎とともに地域に活力を与えている。また「ふるさと」を知るからこそ、自分に何ができるかと考えさせ、防災教育を柱にふるさと活動を進めていった。「自分は役に立っている」という自己有用感が高まるように、地域、保護者に学んだことを提案し、意見交流する場を設けている。					
1 ねらい	過疎化の進む中、保護者を含めた地域住民と子どもたちが、学校行事、伝統芸能を通して触れ合う中で、子どもたちには「人がふるさと」の想いを抱かせ、「自分から地域に働きかける子」を合い言葉に、自分から考え、判断し、行動できる人材を育てていく。					
2 活動の概要	① ふるさと大運動会（6月3日・地域との協働による運動会） ・『河合町地域振興協議会』の河合っ子応援部会が地域種目を企画運営し、地域住民と児童とによる種目を取り入れて、ふれあいをもっている。また、地域から寄贈された70枚余りの鯉のぼりが中高生や地域の方々により運動場に揚げられ、町は、運動会ムード一色に包まれる。地元有志楽団による入場行進の演奏、消防団による訓練披露と独自の種目演出があり、児童、地域住民、教職員全員で楽しんだ。中高生によるボランティアの姿は、小学生の憧れである。会の後は、参加者全員で河合の盆踊りを踊る。 ② 防災教育 【防災・減災センターの村岡先生によるご指導】（4月20日・6月23日） ・1回目のDIG（災害図上訓練）では、地震や洪水等の災害が起こったときに、自分が住んでいる地域がどうなるか、また、その時に、どのタイミングでどこの避難経路を通るか、通らないか、さらに、誰にどんな声をかけていくのかを想定し、実施した。2回目のDIG授業では、危険な箇所を修理、改善していくためには、誰にお願いすればよいのか。「防災が優先順位の一歩となるために、こうしたらできるのでは」と、自分から提案していく台詞を具体的に考え、ワークシートを使って学習した。 【被災経験のある方からのご指導】（7月5日） ・日頃から備えておくと良い食材、道具について紹介していただくと同時に、身近なものを使った非常食づくりを体験した。また、講師ご自身の被災経験から、「ここは大丈夫だ。」という過信で、何人もの知人が尊い命を落としたことや被災当時の宮城県の様子をプレゼンで語って下さった。 【PTAによる親子防災キャンプ】（7月15、16日） ・非常食の試食体験・防災士による『家庭内DIG』『HUG』・消防団による応急処置、救急搬送の方法・ロープの縛り方・防災の知識クイズ・防災グッズ・非常食づくりを親子で実体験した。 【地域に発信】（2月） ・防災・減災について学んだことを地域の方々や保護者に発信し、地域防災について提案し、広く意見交流をしていく。 ③ふるさと学習発表会（11月11日・地域との協働による学習発表会） ・全学年、地域にちなんだ創作劇を披露する。5、6年生は、歌舞伎を伝統文化として受け継ぎ、今年新たな演目である「寿の曾我の対面 工藤館の場」を、ふるさと芸能部会の方々や専門の講師によるご指導を受け、披露する。また、地域の文化祭にも参加し、盛り上げていく。この会の後も、保護者、地域の方々とともに、盆踊りを踊ることが恒例となっており、踊りは子どもたちに深く浸透してきている。					
3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子	・子ども同士の良いこと見つけ「ありがとうのリンゴ」を地域住民に広げ、運動会、学習発表会ばかりでなく、今年は地域での長期休業中の児童の頑張る姿も書いていただいた。気軽に児童に声をかけて応援して下さる方も増え、児童もその期待に応えようと活動した。また、地域の方の自分への期待や想いを知る場ともなっている。「ありがとうのリンゴ」の木を掲示し、良さを認め合える場をつくっている。 ・校内の「踊り隊」が結成されて二年目。地域の盆踊りの講習会（7月13日）では、児童が講師役となって、地域住民に踊りを教えた。途絶えていた地域の「盆踊り大会」（8月13日）も復活し、当日は、三世代での盆踊りで大いに盛り上がった。					
4 活動を通しての児童生徒の変容	・児童は、「盆踊り講師」を通して、伝統を伝えていく方々の想いに触れ、自分が活動したことで、地域の方々が喜んでくださっていることに満足感を味わい、自分も「地域の一員」であることを実感することができた。 ・河合の自然、文化・歴史、人を知るからこそ、「ふるさと河合」を守りたいという想いを強く抱き、自分に何ができるかと課題意識を持ち、自分から防災、減災に関して調べ、活動する姿がみられてきている。					

